

すぎなみ 教育報

No. **224**

平成29年3月17日
(年4回発行)



発行 杉並区教育委員会

CONTENTS

特集1

小学生名寄自然体験交流事業…………… 2

特集2

平成29年度教育予算のあらまし…………… 4

学校支援本部の扉②…………… 6

杉並区スポーツ栄誉章授与

ここがすごいぞ!! すぎなみの給食② …… 7

第2回すぎなみサイエンスフェスタ

文部科学大臣表彰受賞校の紹介…………… 8

厳しい寒さと大自然が 豊かな人間性を育む

冬の北海道で学ぶ「小学生名寄自然体験交流事業」。厳しい寒さと大自然の中で、名寄の子どもたちとの交流等を通して、知的好奇心や豊かな人間性を育みます。

小学生名寄自然体験交流事業

「小学生名寄自然体験交流事業」は、区の交流自治体である北海道名寄市に出向き、厳しい寒さと豊かな自然との触れ合いや、名寄の子どもたちとの交流等を通して、知的好奇心や豊かな人間性を育むことを目的に、「杉並区次世代育成基金」を活用して実施しています。

5回目となる今回は、区内在住の小学5・6年生25名が、平成28年12月26日～28日の3日間、普段経験できない貴重な体験・交流をしました。



子どもたちは、事前学習会で名寄の気候や文化、歴史などを学ぶ中で、「やってみたい」「調べてみたい」と思ったテーマを自ら設定し、現地での話や体験を通して、そのテーマに関する学びを深めました。

「名寄市北国博物館」

昔の人は、厳しい寒さの中で、どう暮らしていたのか知りたい

名寄の自然環境や人々の暮らしの歴史について学びました。

学芸員の方から昔の生活用具について説明を受け、家の中にいりりがあったり、動物の毛皮で着るものを作ったり、知恵を絞って寒さを防ぐ工夫をしていたことがわかりました。



「星空観察」

東京の星空との違いを見たい

名寄では街の灯りが少なく空気が澄んでいるため、夜空が非常に暗く、数え切れないほどの星を見ることができます。

オリオン座や北斗七星など、東京とは違って多くの星々に囲まれて見えることに、とても感動しました。



国内最大級の望遠鏡「ピリカ」を使い、天体観測も行いました。



「スノーシューで冬の森を探検したい」



「スノーシュートレッキング」



寒さの中で、木々がどう生きているのか知りたい

自然観察指導員の方から、樹木が冬の寒さによって裂けてしまう「凍裂」について説明を受けました。
凍裂が起きても成長し続ける木を見て、自然のたくましさを実感しました。

「手作りアイス体験」

極寒の世界で、雪を使った実験がしたい



雪と塩を入れたビニール袋にアイスの材料の入ったペットボトルを入れて振ってみると、10分ほどでおいしいアイスが出来上がりました。外の気温が低く、雪の温度が低いためにできる、北海道ならではの体験でした。

「カーリング体験」

氷の上でストーンをうまく投げることができると、体験してみたい




専用シューズの底には、片方に滑りやすい加工が、もう片方に滑らない加工がされていて、初めは氷上での歩き方がわからず、立つのもやっとでした。
インストラクターの方の指導により、滑る足で姿勢を保つコツをつかみ、次第にゲームを楽しめるようになりました。

振るのが大変だったけど、おいしかった！

学習成果発表会

2月5日(日) セッション杉並で行われた学習成果発表会では、子どもたちが今回の自然体験を通して学んだことや、地元の子供たちとの交流等で感じたことなどを作品にまとめ、発表しました。
※発表作品を、3月27日(月)から31日(金)まで、区役所中棟2階区民ギャラリーに展示します。
※参加児童の作品・作文をまとめた「自然体験交流事業報告書」は、4月上旬に教育委員会ホームページへ掲載しますので、ぜひご覧ください。



テレビで見るより何十倍も楽しかった！

雪国の「寒さ」と「温かさ」

引率者代表 久保田 福美 教育委員

3日目の朝は、前日より12度低い氷点下21度。子どもたちは、濡れタオルもシャボン玉もあつという間に凍ってしまう、厳しい寒さを体験しました。

しかし、名寄での体験を振り返ってみて、なぜか、「寒さ」ではなく「温かさ」が印象に残っています。雪に包まれて感じた「温かさ」は「雪のやさしさ」であり、「名寄の人たちの温かさ」でもありました。

北国博物館では、「雪は、お布団」という話がありま

した。雪が、土を守っています。降り積もった雪によって、土は凍りません。ですから、春、雪解けとともに、アスパラガスや草花の芽が一気に伸びていきます。

地元の子供たちとの交流では、原生林でのスノーシュートレッキング、雪合戦やそり遊びなど、一緒になって、雪にまみれ、走り回っていました。住んでいる地域の生活や文化はそれぞれ違いますが、交流を通してその違いを認め合う心を養い、豊かな人間性を育むことができたと実感しています。

今回の自然体験交流を通して感じたこと・考えたことを生かして、子どもたちがまた大きく成長していくことを願っています。

平成29年度教育予算のあらまし

平成29年度の教育予算は（154億円。一般会計予算の約9%）、平成24年度から33年度までの10年間を見据えて策定した「杉並区教育ビジョン2012」の折り返しとなる年度であることを踏まえ、これまでの取り組みを一層加速する視点から編成しました。その主な内容をお知らせします。

就学前教育の充実

【（仮称）就学前教育支援センターの整備】

本センターは、近年増加傾向にある発達障害児等への教育的支援を含め、区内の幼稚園・保育所等の就学前教育施設における幼児教育の質を向上させるための支援を総合的・一体的に展開していくための拠点として、成田西二丁目用地に整備するものです。

平成31年度中の開設に向け、平成29年度は、移転・改築に伴って併設する成田西子供園と合わせ、施設の実施設設計等を行っていきます。



砂場で遊ぶ園児たちの様子（西荻北子供園）

学校教育への支援

【学校ICTの推進】

(1) タブレットPC配備校の拡大

全小中学校の普通教室に設置した電子黒板機能付プロジェクターと連動させ、より効果的な学びを実現するため、タブレットPCを計画的に配備・運用します。

平成29年度は、既配備校と小中一貫教育を進めている小中学校及び特別支援学校に配備（累計17校）し、義務教育9年間の学びの連続性を確保しつつ、ICTを活用した授業を実施していきます。



タブレットPCを活用した授業の様子（桃井第三小学校）

(2) ICT公開授業の実施

全小中学校及び特別支援学校において、年3回（各学期1回を目安）のICT公開授業を実施していきます。

※各学校の実施日時等は、学校だよりや教育委員会ホームページでお知らせします。

(3) （仮称）杉並教育ICTフォーラムの開催

学校におけるICTを効果的に活用した授業の実践事例を広く発信するとともに、その有効性や可能性等を共有するため、フォーラムを開催していきます。

※フォーラムは平成30年1月27日（土）の午後、杉並公会堂で開催します。詳細は、次号の教育報でお知らせしていきます。

【特別支援教育の充実】

(1) 特別支援教室の設置

現在の通級指導学級に替えて、教員が巡回して指導を行う特別支援教室を計画的に設置し、対象児童に対する指導の充実と待機児童の解消を図ります。

小学校については、昨年度から3年間で段階的に全校設置するよう進めており、平成29年度は18校に設置（累計24校）していきます。中学校については、平成31年度の全校設置に向けた検討・準備を進めます。



富士見丘小エリアでの巡回指導教員による特別支援教室の様子

(2) 学習支援教員の配置拡大

全小学校に配置している学習支援教員について、これまでの実績等を踏まえ、平成29・30年度の2年間で全中学校に配置を拡大し、学習面で困難を抱える生徒に対する個別的支援を充実していきます。

【学校法律相談の実施】

学校における法律問題等への対応力を高めるため、平成29年度から、新たに校長・副校長が弁護士から必要な助言等を得る体制を整備します。

【部活動活性化事業の拡充】

昨年度から本格実施している部活動活性化事業を拡充し、学校の実情等に応じて、専門事業者等への外部委託による部活動指導を一層推進します。



外部コーチによる部活動指導の様子（杉並和泉学園中学部）

学校施設の整備

【高円寺地域小中一貫教育校の整備】

区内2校目となる施設一体型小中一貫教育校（杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校を統合）の平成31年4月開校に向け、平成29年度は施設建設工事とともに、教育方針や校章・校歌等の検討を進めていきます。



〔完成イメージ図〕

【桃井第二小学校の改築】

平成31年4月使用開始に向け、平成29年度は既存西校舎の解体及び新校舎の建設を行っていきます。



〔完成イメージ図〕

生涯学習環境の充実

【図書館の改修・改築】

中央図書館の大規模改修（平成30年度以降設計・工事の予定）に向け、平成29年度は改修基本計画を策定します。永福図書館については、地域コミュニティ施設等との複合施設として移転・改築（永福体育館が旧永福南小学校跡地へ移転した後の同跡地を予定）するための施設の設計等を進めていきます。

学校支援本部の扉

② 桃井第五小学校

学校と地域、人と人をつなぐ桃五の「絆」

平成 22 年に設置した桃五小の学校支援本部「The 絆」は、「地域コーディネーター部」「エプロンの会」「お話宅急便」「芝生を育てる会」「おやじの会」で構成されています。今回は事務局長である天野裕之さんに、「The 絆」の特長的な事業についてお話を伺いました。



「The絆」という名称は、子どもたちの学習活動の支援を通して、「学校と地域、人と人をつなごう」という思いが込められています。この本部が実施する特長的な事業を2つ紹介します。

まずは、新1年生の保護者が、先輩保護者に子育てや学校生活で不安に思うことなどを気軽に相談できる「よろず相談」です。これにより、保護者の不安感の軽減・解消のほか、本部に対する理解と協力を広げるよい機会となっています。

もう一つは、おやじの会主催のデイキャンプです。おやじの会は、「できる時に！できる人が！出来ることを！」をモットーに、事前準備から当日の対応まで、役割を分担しながら活動しています。

このデイキャンプで行う「パン作り」では、粉から生地を作り、発酵させ、焼き窯で焼き上げるまで一連の作業を子どもたちが実施します。おやじサポーターの支援を受けながら、自分たちで作ったパンを食べた子どもたちの顔は、達成感、充実感で満たされています。



焼き窯の上で竹棒に巻いたパン生地を焼きます

丸山校長からは、「『The 絆』の支援を得て、様々な活動に挑戦する子どもたちは、積極性や自主性が増えています」とのお話をいただいています。

「子どもたちと一緒に楽しみながら活動しています。これからも保護者や地域との関係を大切に学校を支える活動を続けていきます」



【学校支援本部「The 絆」】後方左から天野事務局長、大澤本部長、丸山校長 前方左から PTA 代表山岸さん、コーディネーター近藤さん、広報担当木内さん (取材の日いらした方々)

★桃五小支援本部「The 絆」の支援活動について、ブログ（通称：きずログ）で紹介しています。詳しくはこちらをご覧ください。

桃五小 きずログ

検索

問合せ：学校支援課 学校支援係

ここが すごいぞ!! すぎなみの給食 ②

ひと味違うおいしさを引き出す「調理の工夫」

杉並区の学校給食は、食材本来の味を大切に、残さずおいしく食べてもらえるよう、手作りによる丁寧な調理を行っています。今回は、ひと味違うおいしさを引き出す、調理の工夫を紹介します。



～すべてが手作り～ カレーライス

カレーライスは、市販の「ルー」を使用せず、時間をかけて油と小麦粉から「ルー」を作ります。また、ルーを混ぜる「スープ」は、豚骨や鶏骨を朝からじっくり煮出し、そこにたくさんの具材を入れて煮込みます。

このように、時間と手間をかけ、具材が本来持っている自然のうま味を引き出したカレーライスは、どの学校でも大人気です。

子どもたちに大人気 「カレーライス」



学校中がスパイスの香りに包まれ、子どもたちも笑顔の給食時間です。

～ふんわりしっとり～ たまご焼き

給食で定番の「たまご焼き」にも、おいしさの秘密があります。釜にたまごを流し込み、かき混ぜながらふわふわの半熟になるまで調理した後、「スチームコンベクションオープン」で水蒸気で蒸らしながら焼き上げます。

こうすることで、よりふっくらした、焼き色もきれいなおいしいたまご焼きが完成します。

「焼く」だけでなく、「煮る」「蒸す」等の多様な調理に活用しています。



献立の幅が広がる「スチームコンベクションオープン」

～野菜料理も大好き～ サウピカンサラダ

野菜を残さずたくさん食べてもらいたいと考え出されたのが「サウピカンサラダ」です。

加熱により柔らかくなった野菜の上に、油で揚げた千切りのじゃがいもをのせるとカリカリした食感が楽しめます。さらに、ごま油が香る醤油ベースの手づくりドレッシングが子どもたちの食欲を高め、残菜が多くなりがちな野菜料理でも、たくさんの子どもたちが完食します。

野菜料理の人気メニュー 「サウピカンサラダ」



ブラジルのサラダ料理を参考に、お肉の代わりに油で揚げたじゃがいもをのせています。

問合せ：学務課 保健給食係

★学校給食のレシピを、料理レシピサイト「クックパッド」や書籍「おうちで食べたい給食ごはん」で紹介しています。家庭で簡単・手軽に作る調理法にアレンジしていますので、ぜひご活用ください。

3/5
(日)

第2回 すぎなみサイエンスフェスタを開催しました

子どもから大人まで、世代を超えて科学に親しみ学ぶことができる参加体験型科学の祭典「すぎなみサイエンスフェスタ」をセシオン杉並で開催しました。科学関係団体や企業、学校などが出展した26のブースでは、多くの参加者が様々な科学実験や体験、工作を楽しみました。

ビー玉万華鏡を作ろう



鏡を通して見る物を変えることができるのが、ビー玉万華鏡です。ガラス玉に映った物が反射され、きれいな映像になります。子どもたちは自分で作った万華鏡の世界を、夢中になってのぞいていました。

自然とあそぼう！ ネイチャーゲーム

シイタケ、エリンギ、マッシュルームのうち、箱に入っているのはどれかな？見本を見ながら、箱の中にある物を触って、どのキノコかを当てます。このほか、生花が造花かを当てるゲームもあり、子どもたちは楽しく参加していました。



燃料電池ってなんだろう？



水素と酸素を化学反応させて電気を作り出す仕組みを体験しました。地球温暖化やエネルギー問題を解決できる燃料電池の特徴と効用の説明もあり、子どもも大人も興味深く、学ぶことができるプログラムとなりました。

問合せ：社会教育センター ☎03-3317-6621

全国大会で初優勝

1/26 (木) アメフト日本一の佼成学園に杉並区スポーツ栄誉章を授与



第47回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会で初優勝した佼成学園高等学校アメリカンフットボール部に対し、その栄誉と功績をたたえ、区長から杉並区スポーツ栄誉章を授与しました。



© ハドルマガジン

主将 市川司韻 (3年) さんのコメント

「全国優勝を目指して練習を積み重ねてきたので、その目標が達成できて、本当にうれしいです。来年は連覇がかかる中での戦いとなりますが、後輩たちにはもっと強くなってもらい、また全国優勝の喜びを味わってほしいです。」

3校が文部科学大臣表彰を受賞しました



1. 平成28年度キャリア教育に関する文部科学大臣表彰

2校の4年生が、総合的な学習の時間の中で模擬会社を設立し、商品のデザイン作成から出資金調達、商店会や駅頭での販売、収支決算まで一連の取り組みを行いました。

杉並第四小学校

「杉四カンパニー」

ハンドタオルの作成・販売

採用したのは、各班ごとに考えた商品のうち、保護者や地域の方の評価が高かった商品です。高円寺駅前・商店街で販売活動を行い、合計580枚のハンドタオルを販売することができました。



桃井第三小学校

「西荻『桃三郎店』を出店しよう!!」

てぬぐいの作成・販売

駅前で市場調査を行い、デザインや販売価格などを聞き取り、商品開発に生かしました。西荻窪駅前に出店し、みんなで元気に宣伝をして、合計550枚の手ぬぐいを販売することができました。



2. 平成28年度優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰

三谷小学校

「上井草健康推進地区連携事業」

学校支援地域共生本部が中心となり、児童及び地域全体の健康づくりのため、町会や団体、大学などと連携して、ラジオ体操大会をはじめとする「早寝早起き朝ごはん」運動に積極的に取り組みました。



〈早朝のラジオ体操大会〉
子どもたちや保護者、地域から約300人が校庭に集まりました。早起きの習慣を身に付けるとともに、地域全体の健康づくりに貢献しました。

教育委員会からのお知らせ

- 平成29年4月から、スポーツ振興課が区長部局に移管され、「区民生活部スポーツ振興課」となります。今後は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成の取り組みをはじめ、地域振興施策や健康福祉施策等との連携を一層強化し、より総合的・一体的なスポーツ行政の推進を図っていきます。
- 教育委員会の会議は、原則として、毎月第2、第4水曜日に開催され、どなたでも傍聴ができます。会議の日程などは、教育委員会ホームページに掲載しています。

広告



小児科 発達専門外来

JR 中央線「阿佐ヶ谷」駅 徒歩5分
03-3339-2121 (代)

特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク

PTA 会長・学校教育コーディネーターが作った法人

TEL : 03 (5347) 2372 担当・井上 (事務局長)
e-mail : toiwase@sanet.jp



- PTA 活動に関する相談・研修会の開催
- 学校支援本部活動に関する相談・研修会の開催
- 英語活動日本人サポーターに関するコーディネートなど

☆学校を支援している方の応援団。
お気軽に相談ください。